

学校法人 五島育英会 『東京都市大学』 (東京都世田谷区)



贈呈理由

新一号館新築における環境配慮型建築設計の実現に貢献するエコ・アイスの導入



学校法人五島育英会 東京都市大学

学校法人五島育英会は設立以来、国際的視野と情報教育を身につけ、健全な精神と豊かな教養を持って国際社会で活躍出来る有為な人材を育成し、もって、広く社会に貢献するため、常に魅力ある教育システムを構築するとの目的を掲げている。これを早期に実現するために本法人では大学から幼稚園に至る学校群の総力を結集し、2009年(平成21年)4月、武蔵工業大学に東横学園女子短期大学を統合して従来の工学部他、文系学部を

開設し、5学部16学科を擁する総合大学化とし、名称を「東京都市大学」へと変更した(2014年現在、6学部18学科)。それと同時に付属高である高校から幼稚園も名称変更し、「東京都市大学グループ」が誕生した。また、五島育英会では施設設備の充実、環境教育の普及啓発、省エネルギー、省資源を基本コンセプトとした「エコ・キャンパス」を早くから構築し、98年、日本の大学として初めてISO14001の認証を東京都市大学横浜キャンパスは取得した。その省エネの一環である蓄熱方式「エコ・アイス」を利用した空調設備は早くから導入しており、新1号館も同様に採用(個別分散方式16馬力30台)した。東京都市大学新1号館は、閑静な住宅地にある世田谷キャンパスの中心施設として計画された。延べ面積約15,000㎡、地下1階、地上4階建て、大中小の49教室に加え、学生サービス部門、研究室、

事務管理部門、ラウンジを擁する複合施設である。本建物は徹底して環境に配慮したサステイナブルな施設を目指した。トップライト(天窗)やライトシェルフ(屋内に自然光を採り入れる庇)による採光システム、自動制御された換気窓を用いた自然換気システム、西側の壁面には太陽の位置に合わせて陽射しをコントロールする外付けブラインドを導入し、空調負荷を出来る限り削減することを担っている。

学校法人五島育英会 東京都市大学

所在地：東京都世田谷区玉堤1-28-1
 建築設計：(株)東急設計コンサルタント
 建築施工：東急・大成建設工事共同企業体
 蓄熱設備設計：東急建設(株)
 蓄熱設備施工：(株)日本サーマル
 延床面積：14,988.04㎡
 竣工：2013年(新設)

■蓄熱設備概要
 エコ・アイス(個別分散) 16馬力相当×30台(日立アプライアンス)
 蓄熱槽：37㎡